

金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会

氏名	役職等	備考
池田 幸應	金沢星稜大学人間科学部 教授	会長
中川 靖彦	ボーイスカウト金沢地区協議会 地区副コミッショナー	副会長
長澤 裕子	金沢市教育委員(弁護士)	
仁志出憲聖	金沢市起業実践アドバイザー (株式会社ガクトラボ代表取締役)	
福本 有美	金沢市PTA協議会 副会長	
安井 詩織	金沢市子ども会連合会 シニア委員長	
山田 貴弘	金沢市青少年健全育成協議会 伏見台地区青少年健全育成協議会 会長	

(50音順、敬称略)

金沢市青少年健全育成推進アクションプラン・若者ワーキングチーム

氏名	役職等	備考
島田 鴻河	かなざわユースプロジェクト	
高田 美央	平和町活性化プロジェクト	
田中 瑠音	金沢市子ども会連合会	
出越 小春	金沢市子ども会連合会	
本多理紗子	ガールスカウト金沢地区協議会	
宮崎正太郎	ボーイスカウト金沢地区協議会	
矢川 耕志	金沢まちづくり学生会議	

(50音順、敬称略)

金沢市青少年健全育成推進アクションプラン策定までの経過

実施日	会議等の内容
令和4年8月9日	第1回金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会 ・金沢市青少年健全育成推進アクションプラン施策の体系素案について ・金沢市の青少年に関するアンケート調査の実施について
令和4年8月26日	第1回若者ワーキングチーム会議 ・提案内容の検討
令和4年10月20日	第2回若者ワーキングチーム会議 ・提案内容の検討
令和4年11月14日	第2回金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会 ・金沢市の青少年に関するアンケート調査結果の報告について ・若者ワーキングチームの提案について ・プランの骨子案について
令和4年12月20日 ～令和5年1月18日	パブリックコメントの実施
令和5年1月31日	第3回金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会 ・プランの最終案について
令和5年2月20日	池田会長から村山市長へプランの報告

金沢市青少年 健全育成推進 アクションプラン



金沢市子ども未来局 青少年健全育成センター

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号
 電話:076-220-2102 FAX:076-265-7499
 Mail:kenzen@city.kanazawa.lg.jp

金沢市

令和5年3月

第1 金沢市青少年健全育成推進アクションプランの趣旨

●●● 策定の背景と目的

少子高齢化やICTの発展など社会環境の変化に加えて、新型コロナウイルス感染症による活動の制約など青少年を取り巻く状況は大きく変化しています。本市では、これまで「かなざわ子育て夢プラン2020」や「金沢市生涯学習振興基本計画」等を策定し、子どもを健やかに育てる施策や家庭・地域教育力の向上に取り組んできました。

更にこの取り組みを推進し相乗効果を高めるためには、子ども・若者の育成に係る各種施策に関して本市全体を横断的に捉えながら、担当各課はもとより、関連団体等ともその連携を強化し、将来の金沢を担う青少年の育成施策を充実させていく事が重要です。

また、活動の制約や人との交流が制限されてきたコロナ禍を経て、社会経済活動を戻そうという動きがある今、青少年のニーズに沿った多様な文化・スポーツ体験や積極的な地域との関わりに対する支援が必要だと考えます。

そこで、本市が取り組むべき青少年の施策の方向性を明確にし、総合的に推進するため、新たに「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン」を策定することとします。

●●● 位置づけと計画期間

本プランは、「かなざわ子育て夢プラン2020」や「金沢市生涯学習振興基本計画」を上位計画とする青少年の健全育成施策に焦点を当てた実行計画です。

プランの計画期間は、「金沢市生涯学習振興基本計画」の計画終期に合わせ、令和5年度から令和7年度までの3年間とします。

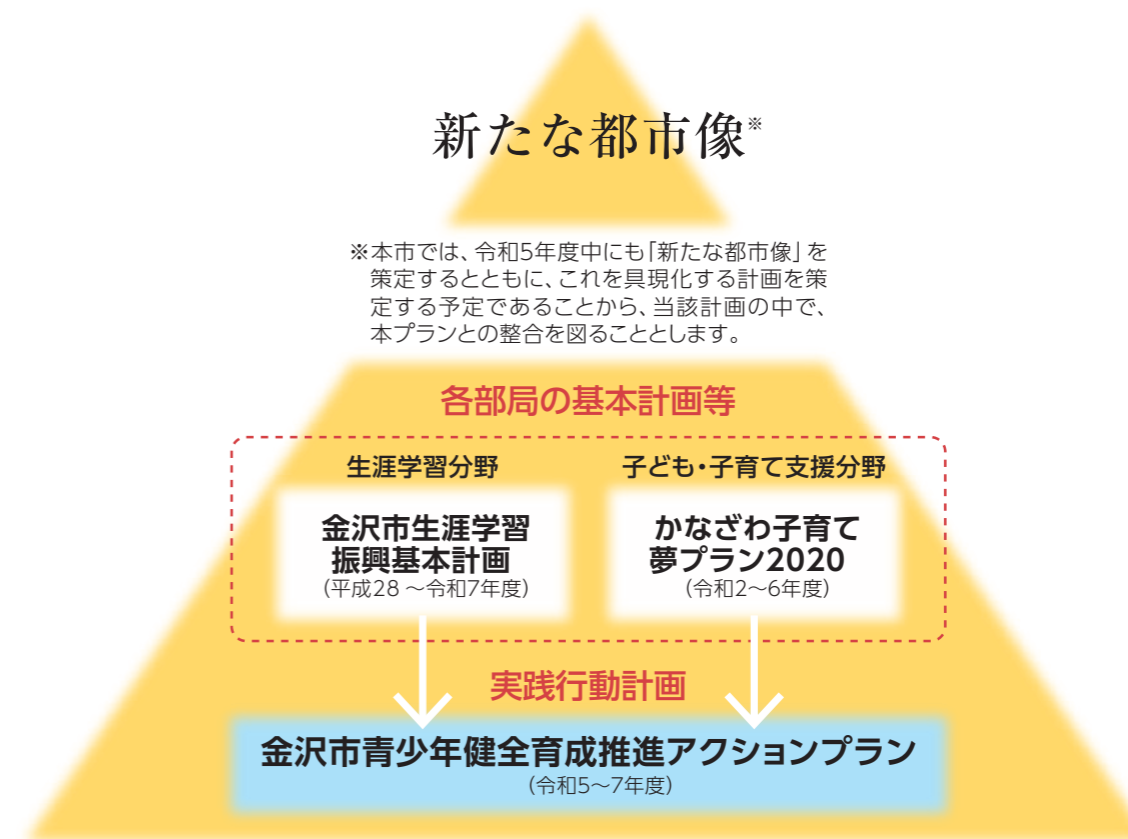
なお、社会情勢の変化等により、必要に応じて見直すものとします。

●●● プランの対象

本プランの対象者は、概ね30歳までの青少年とします。



●●● プランの位置づけイメージ図



●●● 独自の取り組み

- 青少年の現状を把握するため、児童・生徒とその保護者からのアンケートを実施
- 10代・20代の若者ワーキングチームから提言を受け、プランに反映
- 重要業績評価指標に「地域への愛着心を持つ児童生徒の割合」を加え、青少年が地域とふれあう・関わる施策を展開



第2 青少年の現状

●●● 社会情勢の変化

- 少子高齢化による人口減少や地域コミュニティの希薄化
- グローバル化の進展やICTの発展
- 新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式への対応



●●● 本市の現状(令和4年8月～9月 青少年に関するアンケートを実施)

- 青少年の健全育成のため、生きる力を育むといった自己形成の支援が望まれています
- 様々な要因で困難を有する青少年やその家族がいます
- 「近所づきあいを避ける」「青少年に無関心な」大人が多くなっています



【参考】アンケート調査結果(抜粋) ※金沢市内の小中高生とその保護者、青少年活動団体に配布

配布数:1,481 回収数:1,341 回収率:90.5%

【 】の数値は、全国値を示す。内閣府の「子供・若者の意識に関する調査」より(R4.2月実施)

青少年が思う「社会・地域との関わり」

- 社会のために役立つことをしたい(そう思う・どちらかといえばそう思う) …… 90.9%【88.6%】
- ボランティア活動への興味(興味がある・どちらかといえば興味がある) …… 58.6%【54.3%】
- 金沢市(あるいは住んでいる地域)について(好きだ・どちらかといえば好きだ) …… 93.4%【全国値なし】

青少年が「ほっとできる」居場所 それぞれの居場所で「ほっとできる」と答えた割合

- 自分の部屋 …… 72.9%【67.9%】
- 自分の家 …… 64.6%【70.7%】
- SNSなどのインターネット空間 …… 37.8%【39.0%】
- 地域 …… 34.0%【28.2%】
- 学校 …… 24.5%【40.5%】

保護者が思う「健全な青少年を育成するために必要な取り組み」(複数回答、上位3項目)

- 自己形成(生活習慣・生きる力などの育成)のための支援 …… 60.3%
- 困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障害、貧困等)ごとの取り組み …… 34.9%
- 虐待や犯罪など子ども・若者の被害防止や保護 …… 31.1%

保護者が子どもに望む体験(複数回答、上位3項目)

- 職業体験 …… 63.6%
- 自然体験 …… 61.7%
- スポーツ …… 45.8%

第3 健全な育成に向けた課題



絶え間ない変化の時代において、青少年の自己形成(生活習慣や生きる力)を図るための支援や地域への参加活動などを通じて、自立性や協調性を育みながら社会の一員として自立を促進する取り組みが必要とされています

経済的な問題や、ヤングケアラー、児童虐待、いじめなど、青少年が社会生活を円滑に営むうえで抱える困難は多岐にわたるため、個々の状況を理解し、発達段階に応じたきめ細やかな支援が届くことが求められています

少子化や地域コミュニティの希薄化などにより、保護者が身近な人から子育てを学んだり支援を受けたりしにくい状況のなか、家庭と学校と地域などが連携し、社会全体で青少年の成長を支えていく枠組みが必要とされています

第4 基本理念と基本方針

本市は、四季折々の自然とそれに培われた様々な歴史と文化が継承されており、大きな戦災にも遭わず現在も歴史的町並みが存在しています。加えて、多くの高等教育機関が集積する「学都」として学際色も豊かで、伝統と革新の両側面を有している地域特性があります。

次世代を担う青少年を育むため、これらの金沢の地域特性を活かしながら、多様な人々との積極的な関わりを通じて、青少年が地域の中で成長できる環境をつくっていく必要があります。

本プランでは、社会環境の変化や青少年の現状・課題を踏まえつつ、金沢の未来を担う青少年が健やかに育つことができるように『金沢の未来を担う健やかな青少年の育成～地域とともに成長できる環境づくりをめざして～』を基本理念に掲げました。

基本理念の実現に向けて、3つの基本方針に基づき、具体的な施策を推進します。

【基本理念】

金沢の未来を担う健やかな青少年の育成 ～地域とともに成長できる環境づくりをめざして～

基本方針Ⅰ 全ての青少年の健全な育成と自立の促進

基本方針Ⅱ 困難を有する青少年やその家族の支援

基本方針Ⅲ 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

第5 プランの具体的な取り組みと推進体制



●●● プランの具体的な取り組み

基本方針Ⅰ 全ての青少年の健全な育成と自立の促進



1 心と体の健やかな成長につながる活動の推進

- ・野外体験施設の充実などによる豊かな心と健やかな体の育成
- ・スポーツイベントや全中学生に芸能鑑賞などによる多様な体験活動の推進 など

2 社会参画の推進と社会的自立の促進

- ・ユースプロジェクト事業などを通じた地域社会に主体的に参加する青少年の育成
- ・ICTを活用した教育の推進など社会の変化への対応力の育成
- ・ものづくり技能向上事業や職場体験教室などを通じた職業能力や意欲の習得の促進 など

3 創造的な未来を切り拓く青少年への支援

- ・県内の大学と連携し、まちづくりの課題解決に向けた実践型授業を開設するなどまちづくりで活躍する青少年への応援
- ・グローバル人材育成セミナーなどグローバル社会で活躍する青少年の育成 など

基本方針Ⅱ 困難を有する青少年やその家族への支援

1 困難な状況に応じた支援

- ・子ども食堂やひとり親世帯制服リユース事業など生活に困難を抱える家庭への支援
- ・家事支援ヘルパー派遣や理解促進に向けた研修会の開催などヤングケアラーへの対応
- ・児童虐待や犯罪被害者等への支援
- ・アンケートによる実態把握や電話相談などによるいじめや暴力行為への対応
- ・個別相談や情報サイト開設などによる若者無業者(ニート)やひきこもりへの支援 など

2 支援体制の充実

- ・ひとり親家庭等相談窓口の充実など支援につなげる体制の整備
- ・警察や教育委員会と連携して行うネットパトロールなど関係機関のネットワークの連携強化 など



基本方針Ⅲ 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

1 家庭、地域、学校における環境の整備

- ・子ども食堂や学習支援教室に対する支援制度などを通じた青少年の居場所づくりの推進
- ・親の学びあい講座やかなざわ父親ねっとなどによる家庭の教育力向上への支援 など

2 青少年の安全・安心の確保

- ・金沢市青少年健全育成協議会などによる有害環境の浄化活動の推進
- ・街頭補導活動やネットパトロールなどによる青少年の非行・被害防止対策の推進 など

3 青少年の成長を支える担い手の育成・支援

- ・子ども会連合会や青少年団体連絡協議会との連携による青少年活動の活性化に向けた支援
- ・野外活動リーダー育成事業などを通じた地域の多様な担い手の育成・支援 など

●●● 重要業績評価指標(KPI)

区分	指標	直近値	目標値(R7年度)
基本方針Ⅰ	ボランティア活動に興味がある児童生徒の割合	58.6%(全国値54.3%)	62.0% ^(※1)
基本方針Ⅰ	地域への愛着心を持つ児童生徒の割合	93.4%(全国値と比較データなし)	96.0% ^(※1)
基本方針Ⅲ	自分の関係する居場所で安心感を持つ児童生徒の割合	自宅64.6%(全国値70.7%) 地域34.0%(全国値28.2%) 学校24.5%(全国値40.5%)	自宅 71.0% ^(※2) 地域 37.0% ^(※1) 学校 41.0% ^(※2)

区分	指標	直近値(R3年度実績)	目標値(R7年度)
基本方針Ⅲ	補導少年数 ⇒喫煙、飲酒、怠学及び家出をしている青少年のこと	10件 参考:ピーク時(H15) 472件	5件
基本方針Ⅲ	「愛の一声」少年数 ⇒二人乗りなどの自転車ルール違反、ゲームセンターへの出入り等をしている青少年への声掛けのこと	5,243件 参考:ピーク時(H21) 5,409件	5,500件
基本方針Ⅲ	甥杉少年の森・土子原子ども野外広場の利用人数 (延べ人数)	甥杉 1,132人 土子原 751人 参考:新型コロナ前(H30) 甥杉2,139人 土子原2,393人	甥杉 2,200人 土子原 2,400人

※1 全国値と比べ本市の値が高い場合及び比較する全国データが無い場合は、年1%ずつの上昇を目標とします。
 ※2 全国値と比べ本市の値が低い場合は、全国値を目標とします。



●●● プランの推進体制

こども未来局を中心とした庁内ワーキングチームを基軸に、本プランの施策を総合的かつ効果的に推進するとともに、地域の青少年関係団体と相互連携を図りながら、施策の効果や新たな課題、ニーズ等の把握に努めます。